

八幡山ロープウェイ

八幡山ロープウェイは標高 272m の八幡山に登るロープウェイだ。16 世紀末に八幡山城が築かれたこの山からは、周囲の田園風景を一望することができる。山上には城の石垣の跡があり、城の本丸跡には瑞龍寺がある。

ロープウェイで麓から山頂まで約 4 分。車内からは南側に近江八幡の町並みが一望できる。北東側には西の湖と、琵琶湖と町の上に位置する水郷が見える。西の湖の向こうには、安土山や衣笠山があり、16 世紀には重要な城郭があった。山上の駅から少し林道を歩くと、山頂北側の展望台があり、西へと琵琶湖や比良山系を見渡すことができる。

ロープウェイは年中無休で、午前 9 時から午後 5 時まで 15 分間隔で運行している（上り最終は午後 4 時 30 分）。料金は、大人片道 500 円、往復 890 円。小人（6 歳以上 13 歳未満）は片道 250 円、往復 450 円。5 歳以下の子供は無料。

八幡山ロープウェイは日牟禮八幡宮から徒歩 3 分だ。ロープウェイ入口にあるお土産屋さんは餡子でできている地元の名産品である「丁稚羊羹」や「ロープウェイせんべい」、クラフトビールなどを販売している。